

共同企画講義

- 東京大学教養学部

「平和構築論——地域文化研究から見る災害と復興支援」(2010年度冬学期)

- 最先端の課題に各分野のアプローチを持ち寄って開講
- 災害対応の現場＝他者理解の枠組が揺らぐ⇒学術研究の枠組の再編⇒新たな実践 (*da capo*)

「支援者の意図とずれた対応に注目して、それを当該社会への学術的な理解の枠組みで解釈し、その解釈を新たな実践へと結びつける。そのように実践経験に反省的な分析と考察を加えることによって、当該社会の学術的な理解がいつそう深化する」

(担当教員)

